

# 本太中だより

第3号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和7年5月30日

## 人に貼るラベル

### ラベルは大事、中身はもっと大事

校長 田中 一秀

いよいよ3年生にとって最後の公式戦である「学校総合体育大会」が始まります。今日を迎えるにあたり、各部活動、個人ともに、様々な練習に取り組んできました。その中には、思うようにいかずに悩んだり、イライラしたりしたこともあったと思いますが、それらすべてが、自分の力になっているはずで、自分を信じ、仲間を信じて頑張りたいと思います。

さて、家庭のキッチンを見渡してみると、食塩や砂糖、コショウ、醤油、サラダ油、料理酒、みりん・・・様々な調味料があります。また、理科の観察や実験では、様々な薬品を使います。調味料にしても薬品にしても、ビンなどには、内容物を示すラベルが貼ってあります。料理を作るにしても、観察や実験をするにしても、誤った調味料や薬品を使うのは危険ですし、仮に結果として危なくなかったとしても、美味しくなく食べられないような料理になることが考えられます。内容物を示すラベルはとても大事なものです。

ラベルはとても大事ですから、古くなってラベルがはがれているようなものは、怖くて使うことができません。反対に、ラベルが貼ってあると、私たちは安心してしまい、内容物を確認しないで使ってしまう。読み間違えることも、勘違いすることも、もしかすると、ビンに詰め替える時に間違えて異なったものを詰めているかもしれないのに、私たちはラベルが貼ってあると、十分に確認をしなくなります。

ラベルと似たような言葉に、レッテルという言葉があります。レッテルとは、「①商品に製造会社などが貼りつける紙札。商標。②転じて、ある人物や物事に対する特定の評価。」という意味があります\*。私たちは往々にして、人の一面だけを見てレッテルを貼ることがあります。「あの人は変わった人だ」とか、「あの人は嘘つきだ」といったものです。その他「あの人は（血液型）△型だから」というように、日常会話の中で知らず知らずのうちに使っています。このレッテルを貼るという行為、レッテルを貼った人や貼られた人の思いに関わらず、差別や偏見、いじめにつながる場合があります。人に対して様々なレッテル、マイナスのレッテルを貼り、その人を差別したり、少数派として排除したりする行為は、長い歴史の中で途絶えることなく続いてきました。

人は強い存在です。しかし、同時に、複雑で繊細であり、傷つきやすく、壊れやすい存在でもあります。人は、調味料や薬品のように、ずばり、正確に表せる、定義できるものではありません。私たちはラベルを貼ったら、レッテルを貼ったら、その内容物を、中身を確認しなくなる。ラベル、レッテルを貼って少数派を排除したり、ランク付けしたり、評価したりして、複雑で繊細な人の本当の姿を考えず、他者をいじめる、傷つける、そのようなことがないようにしなければと考えています。いじめられて仕方がない人、排除されても仕方がない人なんて誰一人いないのです。

自分の認識や感情が変わり、何となく嫌だと思っていた人と、あることがきっかけで仲良くなる、反発していた者同士が時間の経過とともに尊敬し合う関係となることも多くあります。私は、ある一面だけを見て距離を置いていた人の、別のある一面を見て尊敬したことがあります。一度ラベルを貼ったらそれっきり中身を考えない、そんなことのない人でありたいと思います。

もし、人にラベルを貼るとすると、どんなラベルになるのでしょうか？

\* 新村 出 広辞苑第七版